

雪印種苗の緑肥作物特性一覧表（都府県用）

種類（草種名）	品 種 ※品種名が商品名と異なる品目は、品種名を（ ）書きで記載しています。	草丈 (cm)	施肥量 目安 (kg/10a)	緑肥タイプ							センチュウ対策					乾物収量 (kg/10a)	緑肥の									
				休 閑	後 作	ハ ウ	間 作	越 冬	果 樹 草 生	サツマイモ	ネコブ	ジヤウ	キタ	アレナリア	ネグサレ		キミナ	クナルミ	ナミイシユク	ダイズシスト	窒素固定	塩類除去	土壌保全	透水性改善		
カラシナ	辛神	PVP*	100~160	無施肥またはN 8		○	○														400~800			○	○	
アウエナ ストリゴサ (エンバク野生種)	ハイオーツ		100~120	無施肥またはN 5	○	○		○	○				○	○	○						500~800			○	○	
エンバク	スナイパー	PVP*	100~120	無施肥またはN 5		○															500~700			○	○	
	とちゆたか		100~130	無施肥またはN 5	○	○		○	○													600~800			○	○
	たちいぶき	PVP*	100~120	無施肥またはN 5		○								○	○							500~700			○	○
ライムギ	R-007 (ウィーラー)		120~140	無施肥またはN 5	○	○			○	○				○	○						600~900			○	○	
	緑香Ⅱ (レンズアブルツィ)		120~140	無施肥またはN 5	○	○		○	○													600~900			○	○
ライコムギ	ライコッコⅢ (タッカーボックス)		110~130	無施肥またはN 5		○		○	○													600~900			○	○
ヘアリーベッチ	藤えもん (マッサ)		30~50	無施肥またはN 0~2、 P・K各 5	○	○			○	○												300~600	○		○	○
	寒太郎 (サバン)		30~50	無施肥またはN 0~2、 P・K各 5	○	○			○	○												300~650	○		○	○
	まめ助 (ナモイ)		30~50	無施肥またはN 0~2、 P・K各 5	○	○			○	○												300~600	○		○	○
ベルシアンクローバ	まめ小町 (Mame-Komachi)		30~80	無施肥またはN 0~2、 P・K各 5	○	○	○		○							○					300~600	○		○	○	
クリムゾンクローバ	くれない		30~60	無施肥またはN 0~2、 P・K各 5	○	○			○							○					300~600	○		○	○	
レンゲ	レンゲ		30~50	無施肥またはN 0~2、 P・K各 5		○			○												200~300	○		○	○	
イタリアンライグラス	ヤヨイワセ	PVP*	100~120	無施肥または基肥N 3、 追肥N 4~5		○			○												600~800		○	○	○	
アニュアルライグラス	フェアウェイⅢ (クイックドロ)		100~140	無施肥またはN 5					○	○											-			○	○	
セスバニア	田助		150~200	無施肥またはN 0~3、 P・K各 5	○	○															400~600	○		○	○	
ヒエ	青葉ミレット		100~150	無施肥またはN 5	○	○								○							500~1,000		○	○	○	
スーダングラス	ねまへらそう (スーパーダン2)		250~300	無施肥またはN 5	○	○	○			○	○		○								600~900		○	○	○	
ソルガム	つちたろう (ジャンボ)		280~330	無施肥またはN 5	○	○	○			○	○										700~1,000		○	○	○	
	短尺ソルゴ		150~200	無施肥またはN 5		○		○			○										-		○	○	○	
	グリーンソルゴ (スーパーダン)		250~300	無施肥またはN 5	○	○	○				○										700~1,000		○	○	○	
パールミレット	ネマレット (ADR300)		200~250	無施肥またはN 5	○	○	○			○	○		○								1,000~1,500			○	○	
クロタラリア	ネマキング		120~150	無施肥またはN 0~3、 P・K各 5	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	300~500	○		○	○	
	ネマックス		120~150	無施肥またはN 0~3、 P・K各 6	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	300~500	○		○	○	
	ネマコロリ		120~200	無施肥またはN 0~3、 P・K各 5	○	○	○			○	○		○								400~600	○		○	○	
ギニアグラス	ソイルクリーン		200~250	無施肥またはN 5	○	○	○			○	○	○	○	○	○						600~800		○	○	○	
	ナツカゼ		220~240	無施肥またはN 5	○	○	○			○	○	○	○	○	○						500~800		○	○	○	
ヒマワリ	サンマリノ (NSデュカット)		140~160	無施肥または N・P・K各 5	○	○															500~800			○	○	
ハゼリソウ	アンジェリア		60~80	無施肥または N 0~2、P・K各 5	○	○		○													300~600			○	○	
シロガラシ	キカラシ (メテックス)		80~120	無施肥または N 0~2、P・K各 5	○	○			○												400~800			○	○	
オオムギ	らくらくムギ (ラムタ)	(自然草高) 20~30		無施肥またはN 5	○		○							○							100~200			○	○	
オオナギナタガヤ	ソロ		40~70	無施肥または追肥で N 0~5						○				○							-			○	○	
テフグラス	ST-1 (SAブラウン)		80~100	無施肥またはN 5	○	○	○	○						○							400~500			○	○	
バヒアグラス	ベンサコラ		30~70	無施肥またはN 5					○					○							-			○	○	
トールフェスク	ダイナマイトLS		50~70	N・P・K各 5					○												-			○	○	
ケンタッキーブルーグラス	ヌーブループラス		50	N・P・K各 5					○					○							-			○	○	
シロクローバ	アバパール		10~20	N・P・K各 5	○					○											-	○		○	○	
マリーゴールド	アフリカントール (クラッカージャック ダブルミックス)		50~60	無施肥または N・P・K各 5	○	○				○	○	○	○	○	○						500~700			○	○	
クレーピングベントグラス	CY-2 (シーワイツ)	PVP*	50~80	N 5					○					○							-			○	○	
ダイカンドラ	ダイカンドラ		10	N・P・K各 5					○												-			○	○	

※1 サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。
 ※2 秋播き越冬栽培で茎葉 4t以上すぎ込んだ場合に効果があります。
 ※3 線虫抑制効果を期待する場合
 ※4 年内利用。越冬利用する場合には、越冬性に優れた「寒太郎」をお勧めします。
 ※5 冬期の気候条件によって、越冬割合が異なります（多雪地帯では越冬不可）。
 ※6 虫害の発生が予想されますので、ご注意ください。
 ※7 気象条件により枯れあがらない場合があります。

効果	防風・散むら	景観美化	播種期			すき込み期 草丈 (生育日数)	利用例
			寒・高冷地	一般地	西南暖地		
	◎	1	5月～6月 8月下旬～9月上旬(年内利用)	3月～4月 10月中旬～11月上旬	2月～3月 10月下旬～11月中旬	開花初期 1m	土壌病害、サツマイモネコブセンチュウ対策に。
	◎	10～15	4月上旬～6月上旬 8月中旬～9月上旬	3月～5月 8月下旬～9月中旬 10月中旬～11月上旬	2月下旬～5月上旬 8月下旬～9月下旬 10月下旬～11月下旬	出穂前後 (播種50～60日前後)	ダイコン、ニンジン、ナガイモの線虫対策。 キャベツ、ハクサイの根こぶ病対策に。
		8～10	—	8月下旬～9月中旬	9月 9月下旬～10月上旬 離島(種子島等)	出穂前後	サツマイモネコブセンチュウ対策に、晩夏～冬の空畑を有効利用。 南九州など秋季温暖な地域では9月中旬～9月末の播種が望ましい。
	◎	間作5～8 すき込み8～10	4月上旬～6月上旬 8月中旬～9月上旬	3月～5月 8月下旬～9月中旬 10月中旬～11月上旬	2月下旬～5月上旬 8月下旬～9月下旬 10月下旬～11月下旬	出穂前後 0.5～1.0m	コンニャク、高原野菜の防風・散きむらに。
		6～8	—	8月下旬～9月上旬	8月下旬～9月上旬	穂すみ～出穂始	サツマイモの線虫対策。
	◎	6～8 10～15	3月下旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月中旬 9月下旬～12月上旬	1月下旬～4月中旬 10月～12月	穂すみ～出穂始	秋播きでカタネグサレセンチュウ対策に。 春播きで雑草管理や土壌流亡防止に。
	◎	6～8	3月下旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月中旬 9月下旬～12月上旬	1月下旬～4月中旬 10月～12月	出穂前後 0.5～1.2m	高原野菜や果樹類の敷きむらに。 果樹園の草生栽培。
	◎	条播3～5	—	10月中旬～11月中旬	10月下旬～11月下旬	出穂～開花期 1.1～1.3m	野菜等の防風・防砂・敷きむら利用。
	○	3～5	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～11月上旬	2月中旬～3月下旬 9月下旬～11月下旬	適宜(播種60日後) 草生では自然枯死	遊休地の雑草・地力対策、柿の草生栽培。水稲、大豆の前作緑肥。 寒太郎との混播利用でミツバチの蜜源として長期利用可。
	○	3～5	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～11月上旬	2月中旬～3月下旬 9月下旬～11月下旬	適宜(播種60日後) 草生では自然枯死	寒・高冷地での遊休地の雑草・地力対策。水稲、大豆の前作緑肥。
	○	3～5	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～11月上旬	2月中旬～3月下旬 9月下旬～11月下旬	適宜(播種60日後) 草生では自然枯死	遊休地の雑草・地力対策、柿の草生栽培。水稲、大豆の前作緑肥。
	◎	2～3	4月上旬～5月上旬 8月上旬～9月上旬(年内利用) 9月上旬～10月上旬	3月上旬～4月上旬 8月下旬～9月中旬(年内利用) 9月中旬～10月中旬	2月下旬～3月下旬 9月(年内利用) 9月下旬～10月下旬	年内利用は30cm程度 秋播きと春播きは開花期	景観美化、ダイズシストセンチュウ対策に。
	◎	2～3	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月上旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～10月中旬	2月下旬～3月下旬 9月下旬～10月下旬	開花期	景観美化、ダイズシストセンチュウ対策に。
	◎	3～4	8月中旬～9月上旬	9月上旬～10月上旬	9月中旬～10月下旬	田植え3週間前	水田前作緑肥、景観美化。
		4～5	9月上旬～10月中旬	9月下旬～10月下旬	10月上旬～11月中旬 2月下旬～3月中旬	出穂前後 0.7～1.0m	水田裏作緑肥。
	○	3～5	4月 9月中旬～10月上旬	3月中旬～4月上旬 9月中旬～10月下旬	3月 9月下旬～11月中旬	自然倒伏	果樹園の草生栽培に。
		条播4 散播5	6月中旬～7月中旬	5月下旬～7月下旬	5月上旬～8月中旬	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	水田や転換畑の土壌物理性・排水改善と地力向上に。
		3～5	6月上旬～7月上旬	5月中旬～7月中旬	5月中旬～7月下旬	1.0～1.5m (播種50～60日後)	水田転換畑や湿害が起きやすい圃場の有機物補給に。
		5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月上旬～8月中旬(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種60日前後)	ダイコン、ニンジンの線虫対策。
		5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月中旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月上旬～9月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	サツマイモネコブセンチュウ対策に。 ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有機物補給に。
	◎	散播4～5 防風利用条播1	5月下旬～7月下旬	5月中旬～8月上旬	5月～8月	1.0～1.5m (播種50～60日前後)	ドリフトガード、防風に。
		4～5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月～8月(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有機物補給に。
		4	6月上旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月下旬～8月中旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月中旬～9月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	ソルガム類のいや地の影響を受けない。 カタネグサレセンチュウおよびサツマイモネコブセンチュウ対策に。
	◎	6～9	7月(露地) 6月～7月(ハウス)	5月下旬～7月中旬	5月上旬～8月上旬 2月下旬～9月下旬 (沖繩・奄美諸島)	1.0～1.5m (播種80～90日後)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの各種線虫対策に。
	○	6～9	7月(露地) 6月～7月(ハウス)	5月下旬～7月中旬	5月上旬～8月上旬 2月下旬～9月下旬 (沖繩・奄美諸島)	1.0～1.5m (播種80～90日後)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの各種線虫対策に。
	◎	6～8	7月(露地) 6月～7月(ハウス)	5月中旬～7月下旬	5月上旬～8月上旬 2月下旬～9月下旬 (沖繩・奄美諸島)	1.5m (播種60日後)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの各種線虫対策に。
		条播0.3～0.5 散播1～1.5	6月下旬～7月上旬	6月上旬～8月上旬	5月中旬～8月中旬	1.5m (播種50～70日後)	ダイコン、ニンジン、キュウリ、スイカ、メロンの線虫対策に。
		条播0.3～0.5 散播1～1.5	6月下旬～7月上旬	6月上旬～8月上旬	5月中旬～8月中旬	1.5m (播種50～70日後)	ダイコン、ニンジン、キュウリ、スイカ、メロンの線虫対策に。
	◎	条播1～1.5 散播1.5～2	5月下旬～6月中旬	5月中旬～7月上旬	4月中旬～8月上旬	開花期	短稈早生で景観美化に適する。
	◎	2～3	4月上旬～5月中旬	3月～4月 10月下旬～11月中旬	2月下旬～3月中旬 11月中旬～12月上旬	開花期	景観美化、土壌流亡防止。 長ネギの前作緑肥。
	◎	2～3	4月上旬～5月中旬	3月 11月	2月下旬～3月中旬 11月中旬～12月上旬	開花期	景観美化、遊休地対策にも。
	○	間作3～5 散播8～10	5月中旬～6月下旬	4月上旬～6月中旬	3月下旬～5月中旬	8月以降枯死	コンニャクの間作利用、ウリ類の下草利用、遊休地の雑草対策に。
	◎	2～3	9月	9月中旬～10月中旬	9月下旬～11月上旬	自然枯死	草生栽培 刈取り管理不用で省力化。
		1～2	—	5月中旬～7月中旬	3月中旬～9月下旬	0.7～0.9m 最短播種40日後	茶園・果樹園等でのリビングマルチ利用、畝間利用。
		4～5	—	5月下旬～7月中旬	5月～7月	0.4～0.5mで刈払い	ミカンなどの果樹園の草生栽培。
		5～10	4月～5月 8月下旬～9月下旬	3月中旬～4月下旬 9月下旬～10月中旬	2月下旬～4月上旬 10月上旬～11月上旬	出穂期で刈払い	リンゴなどの果樹園の草生栽培。
		3～5	4月～5月 8月下旬～9月下旬	3月中旬～4月下旬 9月下旬～10月上旬	—	出穂期で刈払い	リンゴなどの果樹園の草生栽培。
	○	2～3	4月中旬～5月下旬 8月下旬～9月下旬	3月中旬～4月下旬 9月下旬～10月中旬	2月下旬～4月上旬 10月上旬～11月上旬	適宜刈払い	果樹園の草生栽培。
	◎	0.2～0.5	6月	5月下旬～7月上旬	5月上旬～7月中旬	開花期 (定植後80～90日)	線虫対策と景観美化に(栽培日数として80日前後が必要)。
	○	20	8月中旬～9月上旬	8月下旬～9月中旬	—	永年使用	草生栽培、法面に。
		5～10	5月下旬～6月下旬	5月上旬～7月中旬	4月中旬～7月中旬	永年使用	果樹園の難作業場所に。

「PVPマーク」の説明 令和3年4月1日より、登録品種であることの表示が義務化されました。これに伴い「PVPマーク」が登録品種の表示として使用できるようになりました。品種登録された種苗の他、これらの種苗から得られた収穫物、政令で定める加工品に表示いたします。品種登録された植物新品種は知的財産権(育成者権)として保護されており、このマークのついている種苗を、育成者権者の承諾なしに業として利用(増殖、譲渡、輸出入)する行為は、損害賠償、刑事罰の対象になる場合があります *海外持出禁止(農林水産大臣公示有)